

会員企業紹介

有限会社三葉商事

Vol.44

「クローバーの花のように」



代表者 山下 武志

今回は、昭和41年10月に創業し、いまブームとなっているお守り袋の火付け役として、また国内外のトップアスリートが身につけるスポーツウエアの刺繍を手掛ける、有限会社三葉商事の山下武志社長にお話を伺いました。

山下社長は、西舞鶴高等学校を卒業後、同社に入社され大阪で10年間営業マンとして日本全国を飛び回り、20年前に帰鶴され昨年9月に代表取締役役に就任をされました。

昨今、繊維業界は人件費の安い中国など東南アジアに流れ、同社も国外に出るか、国内に残るか、選択を迫られました。同社は大手アパレルに同行しないで国内に残り、大手の請負加工だけ

やるのではなく、自社の技術を磨き、製品企画から生産までできる会社しようと思いをされたそうです。

しかし、決意とは反面、繊維業界の海外シフトの影響で売上は減少し、ここ数年間は経営が本当に厳しかったそうです。そのような中でも同社は商品開発を続け、ここで生まれたのがお守り袋だったそうです。

このお守り袋は神社やお寺のものではなく、望み、魂、努力、自分自身の決意を封入するお守り袋として世に出されました。しかし、このお守り袋も半年間は全く注文が無かったそうです。

ところが、同社はWeb販売を5年前からやっており、徐々にお守り袋へのアクセスが増え認知度が高まり、今では「お守り袋」と検索してみると、同社が一番上に掲載されるほどです。また、お守り袋から同社のオリジナルティや技術力も認められ、今ではハッピーやハチマキなど、ゲンを担ぐ物が全国から多く注文が入るそうです。

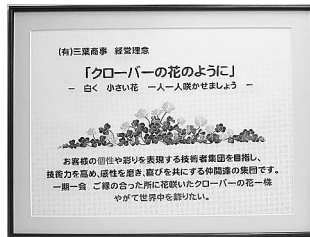
これからの同社を山下社長に聞くと、繊維や糸の質も向上しているため、刺繍技術はまだ技術を伸ばせることができる。生活空間や冠婚葬祭など、刺繍技術を様々な分野で活かしていきたい。

さらには、職人技である刺繍技術の伝承と日本の刺繍技術を世界中にもっともっと広めたいと、頑張る経営者としてますますの飛躍が期待されます。



会社概要

会社名/有限会社三葉商事 代表者/山下 武志
 所在地/624-0905 舞鶴市福来579
 TEL/0773-75-5514 FAX/0773-76-2505
 URL/http://www.rakuten.co.jp/webmitsuba/(みつば楽天店)
 http://www.rakuten.co.jp/m-leaf/(みつばリーフ)
 事業内容/刺繍全般・企画・生産 繊維雑貨製造販売



記者から一言

望み、魂、努力、自分自身の決意を封入するお守り袋は、北京オリンピックで金メダルを取ったソフトボールの選手達も身につけていました。

新入会員企業紹介

Vol.20



宴会・寿司・仕出し
みなと屋

美味しいものを食べて
 幸せを感じて欲しい



国道175号線に面し、京都縦貫自動車道下の緑の看板が目印です

会社概要

事業所名/みなと家 代表者/佐藤栄一郎
 所在地/舞鶴市字地頭489-2
 TEL/0773-83-0029 FAX/0773-83-0129
 従業員数/5名
 事業内容/ふぐ料理・クエ料理・宴会・寿司・仕出し
 座敷収容人数/少人数~34名
 営業時間/11:00~22:00 要予約(送迎可能)
 定休日/不定休

今回は、地頭の由良川沿いにある「みなと家」さんを訪問し、4代目の佐藤栄一郎さんにお話を伺いました。同店は、大正時代の創業で旅館も営んでおられました。当時、この辺りは、由良川の海上交通の要衝で宿場町が形成されており、「みなと家」という名称も渡し舟の港に由来するそうです。

時が流れるにつれ、店の様子も変わりました。佐藤さんが子供の時に三味線や太鼓の音を聞いて育ったという旅館はもうありません。また、かつては川魚の料理を中心に提供されていましたが、今は、流通の発展と共に、各地の旬の食材などを使った季節会席やふぐ・クエ・鱧・カ二等の各コース、さらに、魚だけでなく、和牛やしし肉、すっぽんなどの料理も提供しておられます。

一方、時が流れても変わっていないのは、遠くから来ていただいた方へのおもてなしの心と「良い食材から引き出される美味しいものを食べて喜んでいただきたい」という思いです。顧客にはリピーターも多く、大阪や神戸、京都市内からも来店されるそうです。「今年も行くよ」の一言が有り難く心にしみると佐藤さんは言われます。予約制にしているのも、季節の食材を吟味することに始まり、美味しい料理とそれに合ったお酒、ゆったりした雰囲気を楽しんでもらうためだそうです。「お客様が一口目を口に運ばれた後の幸せそうな顔がいい。美味しいものを食べて幸せを感じてもらいたい」とのことです。